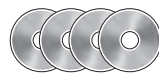


ペーパーテスト式
団体受験プログラム



音声CD4枚付き

TOEFL ITP® TEST リスニング完全攻略

関西外国語大学短期大学部教授

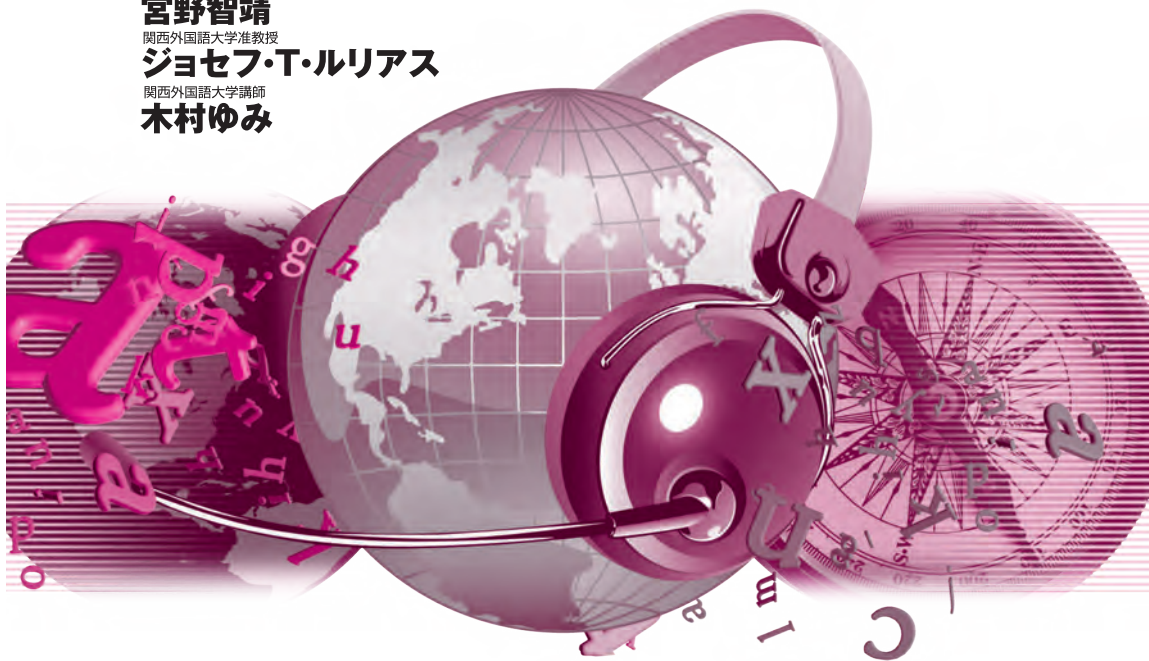
宮野智靖

関西外国語大学准教授

ジョセフ・T・ルリアス

関西外国語大学講師

木村ゆみ



語研

TOEFL and TOEFL ITP are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS).
This publication is not endorsed or approved by ETS.

本書は、弊社刊『TOEFL® TEST リスニング完全攻略』を TOEFL ITP TEST の出題形式、出題傾向に即して改訂し、加筆修正したものです。

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は世界中で受験されている英語運用能力評価テストです。そのうち、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) は、ペーパーテスト形式の団体受験テストプログラムであり、アメリカ国内、国外を問わず、世界中の教育機関で利用されています。日本国内では、主に大学のクラス分け、単位認定、留学生選抜試験などに使われています。TOEFL ITP スコアには公的な効力はありませんが、出題内容としては従来のペーパーテスト版 TOEFL PBT の問題が再利用されており、英語力を正しく評価する試験のひとつとして知られています。TOEFL ITP の試験内容、構成、スコア評価方法などは、本書の冒頭で概略を説明していますので、すぐに全体像をつかんでいただけるものと思います。

多くの日本人受験者は、TOEFL ITP の受験対策として、文法セクション (Structure and Written Expression) や長文読解セクション (Reading Comprehension) への対策は、何をどのように学習すればよいかをある程度心得ているようです。しかしながら、リスニング・セクション (Listening Comprehension) の対策にはとまどっている人が少なくありません。そこで誕生したのが本書です。本書は TOEFL ITP のリスニング・セクションにおいて、短期間のうちに著しい効果を発揮する受験対策書です。

私たちはまず、多くの時間を割いて TOEFL ITP リスニング・セクションの出題パターンを徹底的に調査・研究することから始め、そのデータに基づいて、正確で綿密な攻略ストラテジーと練習問題の作成に着手しました。実際の TOEFL ITP と同様に、大学生生活に密着したさまざまな話題、語彙、設問の形式・ポイント・難易度、トラップとなる誤答選択肢の作り方、収録問題数など、いずれを取ってもこれまでに類を見ないほど高い学習効果をあげる TOEFL ITP 受験対策書が完成したことと自負しております。

特に本書では、リスニング・セクションの出題形式をわかりやすく示し、出題傾向と対策、また有効ストラテジーを余すところなく解説しました。かゆいところに手が届く本書の編集方法に、学習者の皆さんはきっと満足してくださるものと確信しています。本書はまさに、「本物」を目指して執筆に精を出した私たちが、TOEFL ITP 攻略に真剣に取り組みたい受験者の利益を最大限に考慮して作り上げた

「真剣勝負の TOEFL ITP 攻略本」です。本書が皆さんのスコアアップ，ならびに英語力アップの一助となることを心より願っています。

末筆ながら，本書を上梓するにあたり，いろいろな方々にたいへんお世話になりました。語研編集部の奥村民夫氏には，企画から校正まで一方ならぬご厚意とご援助を戴きました。この場を借りて，衷心より感謝の意を表したいと思います。

2011 年秋

著 者

はじめに	3
本書の構成と使い方	8

I

TOEFL ITP® テストについて

1. TOEFL ITP とは	14
2. TOEFL ITP の構成	15
3. TOEFL ITP と TOEFL iBT の違い	16
4. スコアについて	17
5. スコア比較	18

II

パート別出題傾向と対策

1. Part A 出題傾向と対策 (練習問題 40 問)	 Disc1 03~50
1. 【イディオムの知識】を問う	20
2. 【話者の意図】を問う	30
3. 【話者の仮定・前提・思い込み】を問う	38
4. 【話者の行動】を予測する	46
5. 【話者の提案】を問う	52
6. 【話者の抱える問題】を問う	60
7. 【詳細情報】を問う	68
8. 【会話のトピック】を問う	76
2. Part B 出題傾向と対策 (練習問題 15 題 60 問)	 Disc1 52~88
トピック別対策	84
◆ 1. Class	89
◆ 2. Assignments	100
◆ 3. Class Registration	111
◆ 4. Extracurricular Activities	122
◆ 5. Other Campus-related Topics	133

3. Part C 出題傾向と対策 (練習問題 10 題 40 問)	 Disc2 03~29
教科別対策	144
◆ 1. Natural Science	149
◆ 2. History	157
◆ 3. Biography	167
◆ 4. Social Science	176
◆ 5. General Interest	186

III

パート別有効ストラテジー

1. Part A 有効ストラテジー (練習問題 60 問)	 Disc2 31~96
1. 【類音語句】を聞き分ける	198
2. 【言い換え表現】を見破る	212
3. 【重要会話表現】をマスターする	224
4. 【肯定・否定】を正しく判断する	238
5. 【仮定法】を攻略する	252
6. 【特殊構文】に注意する	266
2. Part B 有効ストラテジー (練習問題 5 題 20 問)	 Disc3 03~12
総合対策	282
3. Part C 有効ストラテジー (練習問題 10 題 40 問)	 Disc3 14~34
1. 基本対策	306
2. 詳細対策	332

IV

リスニング実戦模試

	 Disc4 02~47
リスニング実戦模試 (50 問)	361
リスニング実戦模試 解答・解説	377

付属の音声 CD について

本書の付属音声 CD には、書名やトラック名などの文字情報は含まれておりません。本 CD をパソコンに読み込んだ際に表示される書名やトラック名などの文字情報は、弊社の管理下でない外部のデータベースを参照したものです。あらかじめご了承ください。

CD 収録時間 Disc 1 : 61 分 49 秒
Disc 2 : 73 分 42 秒
Disc 3 : 49 分 29 秒
Disc 4 : 35 分 26 秒

【装丁】 山田 英春

【CD 吹き込み】 Bianca Allen
Dominic Allen
Greg Dale
Kimberly Forsythe
Edith Kayumi
Josh Keller
Steve Martin
Jack Merluzzi
Carolyn Miller
Anita Sugunan
Judy Venable
Chris Wells

本書は、TOEFL ITP の Section 1 Listening Comprehension の出題傾向を、出題されるトピック、語彙、設問の形式・ポイント・難易度、受験者を誤答へと導く誤答選択肢（トラップ）の特徴などから分析し、適切な事前学習、出題パターンの分析と有効ストラテジーを用いた出題パート別対策、練習問題による積み重ね学習によって、短期間でスコアアップを図る受験対策書です。全体は次の4章に分かれています。

I TOEFL ITP® テストについて

1. TOEFL ITP とは
2. TOEFL ITP の構成
3. TOEFL ITP と TOEFL iBT の違い
4. スコアについて
5. スコア比較

II パート別出題傾向と対策

1. **Part A** 出題傾向と対策 (練習問題 40 問)
 1. 【イディオムの知識】を問う
 2. 【話者の意図】を問う
 3. 【話者の仮定・前提・思い込み】を問う
 4. 【話者の行動】を予測する
 5. 【話者の提案】を問う
 6. 【話者の抱える問題】を問う
 7. 【詳細情報】を問う
 8. 【会話のトピック】を問う
2. **Part B** 出題傾向と対策 (練習問題 15 題 60 問)
トピック別対策
 1. **Class**
 2. **Assignments**
 3. **Class Registration**

4. **Extracurricular Activities**
 5. **Other Campus-related Topics**
3. **Part C 出題傾向と対策 (練習問題 10 題 40 問)**
教科別対策
1. **Natural Science**
 2. **History**
 3. **Biography**
 4. **Social Science**
 5. **General Interest**

Ⅲ パート別有効ストラテジー

1. **Part A 有効ストラテジー (練習問題 60 問)**
 1. 【類音語句】を聞き分ける
 2. 【言い換え表現】を見破る
 3. 【重要会話表現】をマスターする
 4. 【肯定・否定】を正しく判断する
 5. 【仮定法】を攻略する
 6. 【特殊構文】に注意する
2. **Part B 有効ストラテジー (練習問題 5 題 20 問)**
総合対策
3. **Part C 有効ストラテジー (練習問題 10 題 40 問)**
 1. 基本対策
 2. 詳細対策

Ⅳ リスニング実戦模試

- リスニング実戦模試 (50 問)
リスニング実戦模試 解答・解説

I TOEFL ITP® テストについて

最初の章では TOEFL ITP の概要と、TOEFL iBT スコアとの相関について簡潔にまとめました。

II パート別出題傾向と対策

Part A, Part B, Part C の出題傾向とその対策についてまとめました。

Part A (Short Conversations) では、特に出題傾向として顕著な以下の 8 項目について頻出出題パターンを例題として示し、対策として身につけておくべき言語知識や頻出設問例をまとめました。各項目ごとに練習問題 5 問 (計 40 問) を用意しました。

1. 【イディオムの知識】を問う
2. 【話者の意図】を問う
3. 【話者の仮定・前提・思い込み】を問う
4. 【話者の行動】を予測する
5. 【話者の提案】を問う
6. 【話者の抱える問題】を問う
7. 【詳細情報】を問う
8. 【会話のトピック】を問う

Part B (Long Conversations) は Part A のロング・バージョンというべきもので、会話の内容、出題傾向に大きな違いはありません。頻出出題パターン 1 題 4 問を例題として示し、対策に続いて、以下の 5 トピックごとに練習問題 3 題 12 問 (計 15 題 60 問) を用意しました。

1. **Class** (クラス)
2. **Assignments** (課題)
3. **Class Registration** (履修登録)
4. **Extracurricular Activities** (課外活動)
5. **Other Campus-related Topics** (その他のキャンパス関連トピック)

Part C (Talks) は講義形式のリスニングで、TOEFL ITP の最難関とも言われます。1 題 4 問を例題として示し、以下の 5 トピックごとに練習問題 2 題 8 問 (計 10 題 40 問) を用意しました。

1. **Natural Science** (自然科学)
2. **History** (歴史)
3. **Biography** (伝記)
4. **Social Science** (社会科学)
5. **General Interest** (一般)

Ⅲ パート別有効ストラテジー

TOEFL ITP でスコアアップを図るには、出題パターンに即応した正答の導き方を身につけるだけでなく、いかにしてトラップ（落とし穴）に引っかけからずに正答率を高めるかが重要です。この章では、誤答を防ぎ、正答率を高めるために有効なストラテジーと学習方法について解説しました。

Part A (Short Conversations) では、特にトラップとして顕著な以下の6項目について例題を示し、ストラテジーを解説しました。各項目ごとに練習問題10問（計60問）を用意しました。

1. 【類音語句】を聞き分ける
2. 【言い換え表現】を見破る
3. 【重要会話表現】をマスターする
4. 【肯定・否定】を正しく判断する
5. 【仮定法】を攻略する
6. 【特殊構文】に注意する

Part B (Long Conversations) では有効ストラテジーを紹介し、練習問題5題20問を用意しました。例題はありません。

Part C (Talks) では有効ストラテジーと練習問題10題40問を用意しました。例題はありません。

Ⅳ リスニング実戦模試 (50問)

この章ではTOEFL ITPのListening Section 1回分の模擬試験(50問)に挑戦してください。日頃から実際の試験そのままの問題を繰り返し解きながら、解答のペースをつかんでおくと、本番でも十二分に実力を発揮することができます。

本書の付属 CD には例題を含む全練習問題を収録してあります。解答のためのポーズ（約 12 秒）も実際のままです。

【付属 CD の構成】

●**CD-1:** II パート別出題傾向と対策

1. **Part A** 出題傾向と対策
2. **Part B** 出題傾向と対策

●**CD-2:** II パート別出題傾向と対策

3. **Part C** 出題傾向と対策

III パート別有効ストラテジー

1. **Part A** 有効ストラテジー

●**CD-3:** III パート別有効ストラテジー

2. **Part B** 有効ストラテジー
3. **Part C** 有効ストラテジー

●**CD-4:** IV リスニング実戦模試

なお、全問題のそれぞれにトラック番号を付けてありますので、問題ごとの頭出し、サーチ、スキップ、ランダム再生が可能です。

I



TOEFL ITP[®] テストについて *About TOEFL ITP[®] TEST*



1. TOEFL ITP とは

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は米国、カナダの大学、大学院への留学を希望する、英語を母国語としない人々に課される英語能力評価テストです。アメリカの標準化テスト開発機関 ETS (Educational Testing Service) が問題を作成し、日本での実施・運営は国際教育交換協議会 (CIEE) が行っています。

TOEFL は本来、留学希望者の英語能力を評価する目的で作成されているため、その内容もキャンパスでの会話、大学でのディスカッション、アメリカ史や地学などの大学での講義内容を素材として、アカデミズム指向の強い試験となっています。

TOEFL はこれまで、PBT (Paper-Based Test)、CBT (Computer-Based Test)、iBT (Internet-Based Test) とさまざまな形式を取り入れてきましたが、2006 年以降は、留学希望者に対しては TOEFL iBT のみの受験が義務付けられています。

TOEFL ITP (Test of English as a Foreign Language Institutional Testing Program) は団体受験に限って実施されているテストで、主に大学、短期大学、語学学校でのクラス分けや大学院入試のために活用されています。受験結果は公式の TOEFL スコアとしては認定されないため、留学志望先に提出することはできません (TOEFL iBT のスコアを提出する必要があります)。しかし、過去のペーパーテスト版 TOEFL (PBT) の問題を再利用し、採点方法なども TOEFL iBT に準じているため、TOEFL iBT のスコアと高い相関関係があるとされています。そのため、現在 500 以上の教育機関 (高校・大学・大学院) や団体、企業で実施され、17 万人以上の受験者がいます。生徒や社員の英語力の測定、交換留学の選抜試験、社員の研修、クラス分けのために利用されています。また、TOEFL iBT に比べ、受験料も約 6 分の 1 と安く受験しやすいため、TOEFL iBT の受験準備にも多く利用されています。TOEFL ITP は団体受験限定ですので、受験申し込みは所属している団体や教育機関にご確認ください。

2. TOEFL ITP の構成

TOEFL ITP は Listening Comprehension, Structure and Written Expression, Reading Comprehension の 3 つのセクションで構成されています。TOEFL ITP には Level 1 と Level 2 があり、Level 1 は過去の PBT 問題をそのまま利用し、Level 2 はやさしめに作られています。本書では Level 1 を対象としています。

◆ Section 1: Listening Comprehension (所要時間：約 35 分 設問数：50 問)
Part A：短い会話を聞き、その内容についての設問に答える。(約 15 分 30 問)
Part B：長めの会話を聞き、その内容についての設問に答える。 (約 7 分 2 題×4 問=8 問)
Part C：講義、学術的なトークなどを聞き、その内容についての設問に答える。 (約 12 分 3 題×3-5 問=12 問)
◆ Section 2: Structure and Written Expression (所要時間：25 分 設問数：40 問)
Structure：空所補充問題 (15 問)
Written Expression：誤文訂正問題 (25 問)
◆ Section 3: Reading Comprehension (所要時間：55 分 設問数：5 題 50 問)
5 つの長文 (250 ~ 350 語程度) を読み、その内容あるいは語彙についての設問に答える。

試験時間は約 2 時間、問題は全部で 140 問あります。試験監督官の指示に従い、最初に Listening Comprehension を解き、その後に Structure and Written Expression と Reading Comprehension に移ります。試験監督官の指示に従って、指定されたセクションだけを解かなければなりません。他のセクションを無断で解いていると判断された場合には、スコアが無効になる可能性があります。

なお、減点法は採用されていないので、必ず全問を解くように心がけてください。どうしても正答がわからない場合は、必ず選択肢のひとつにマークしてから次の問題に進みます。その際は常に特定の選択肢にマークしても、そのつどマークする選択肢を変えても、それが偶然に正答になる確率は変わりません (二項確率)。

3. TOEFL ITP と TOEFL iBT の違い

	TOEFL ITP		TOEFL iBT	
	設問数	時間	設問数	時間
Listening Comprehension	50 問	35 分	11 問	60-90 分
Structure and Written Expression	40 問	25 分	/	
Reading Comprehension	50 問	55 分	12-14 問	60-100 分
Writing	/		2 問	50 分
Speaking	/		6 問	約 20 分
合計	140 問	115 分	33-35 問	4-4.5 時間

TOEFL ITP は Listening Comprehension, Structure and Written Expression, Reading Comprehension の 3 部構成です。TOEFL iBT には Structure and Written Expression はありませんが、Writing と Speaking があります。

4. スコアについて

採点は受験後約2週間で終了します。スコアは Listening Comprehension と Structure and Written Expression が31～68点、Reading comprehension が31～67点で計算されます。合計点の算出方法は、

$$(\text{Listening} + \text{Structure} + \text{Reading}) \times 10 \div 3$$

という計算式で、最低310点、最高677点になります。なお、いずれのセクションもスコアは単純に「正答数×素点」で計算されるのではなく、正答数を一定の換算式に基づいて変換することで得られます。換算式は公表されていませんが、目標スコアと目標正答率（正答数÷設問数）との関係は次のようになると思われます。

目標スコア	目標正答率（各セクション）
500	73 パーセント
550	83 パーセント
600	88 パーセント

一般的に、大学での交換留学に必要な最低基準は500点、アメリカやカナダの大学への正規留学には最低500-550点、大学院への留学では最低550-600点が必要となります。

5. スコア比較

TOEFL ITP, TOEFL iBT のスコア相関表でスコアを比較してみましょう。例えば, ITP で 500 点の場合, iBT では 61 点にあてはまります。自分の目標スコアを設定し, 受験に備えましょう。

ITP	iBT
677	120
617-620	105
600-603	100
580-583	92-93
550	79-80
520	68
500	61
480	54-55
450-453	48
430	39
400-403	32
380-383	26-27
353	21
330	16
310	0-12

資料提供：国際教育交換協議会『TOEFL iBT, TOEFL CBT, TOEFL PBT スコア換算表』より

II



パート別出題傾向と対策 Question Types



- (A) Amy is a smart person.
- (B) Amy is known as a cheerful person.
- (C) The man should ask a librarian.
- (D) Amy likes to read sociology books.

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

M: Do you know what kind of person Amy is? I mean, the girl always sitting in the first row in our sociology class.

W: Oh, that girl. Well, in my book, she's a bright person.

Q: What does the woman mean?

M: エイミーってどんな感じの人が知ってる？ 僕たちが受けている社会学のクラスでいつも一番前の列に座っている女の子のことだけど。

W: ああ、あの子ね。そうねえ、頭のいい人だと思うわ。

Q: 女性は何を言いたいのですか。

- (A) エイミーは賢い人物である。
- (B) エイミーは陽気な人として知られている。
- (C) 男性は図書館員に尋ねるべきである。
- (D) エイミーは社会学の本を好んで読む。

【解答・解説】A

学生同士の会話。男性はエイミーがどんな人物か女性に聞いている。“Well, in my book, she's a bright person.”（そうねえ、私の意見では、彼女は頭のいい人だと思うわ）という答えから、(A)が正答となる。たとえ in my book（私の意見では）というイディオムを知らなくても、bright = smart がわかれば容易に解ける。

【重要語句】

- librarian** 「図書館員, 司書」
- in the first row** 「最前列に」 (= in the front row) **sociology** 「社会学」
- in one's book** 「～の意見では」

Part A の Short Conversations (短い会話) は短い対話式問題を扱ったもので、おおむね 8 つの出題パターンに分類できます。

まず、最初にイディオムの知識を問う問題について説明します。TOEFL ITP のリスニング・セクションには随所にイディオムを使った文が見られますが、イディオムの知識が解答に直結する問題は、この Part A でよく出題されています。

TOEFL ITP では、英検 1 級の問題に出てくるような凝った、あるいは陳腐なイディオムは出題されず、アメリカの日常生活で頻繁に用いられる基本的なイディオムが問われます。TOEFL ITP では、すべての会話場面は大学生活に基づくものに限られていますが、大学生同士のくだけた会話表現だけでなく、大学の事務局職員・図書館員、教授とのフォーマルな会話表現を含めて、幅広いイディオムの知識が求められているので、けっこう準備がたいへんです。

TOEFL ITP で求められるイディオムの知識は、本来のイディオム (慣用表現) に加えて、句動詞、口語会話表現を含みます。以下に簡単にまとめてみます。

なお、会話文はもちろん、設問文もテストブックには示されていません。音声で読み上げられるだけですから、注意深く聞き取る必要があります。設問文のあとに解答用ポーズ (約 12 秒) が用意されていますので、その間にすばやく解答して、次の会話が始まるのを待ちます。

1. イディオム (慣用表現)

TOEFL ITP のリスニングに出題頻度の高いイディオムを挙げてみます。すでに知っているものがいくつあるかチェックしてみてください。

<input type="checkbox"/> kill time	時間をつぶす	<input type="checkbox"/> bend over backwards	できる限りの手を尽くす
<input type="checkbox"/> miss the bus	チャンスを逃す	<input type="checkbox"/> break the ice	うちとける、口火を切る
<input type="checkbox"/> stand on <i>one's</i> own [two] feet	自立する	<input type="checkbox"/> go overboard	極端に走る
<input type="checkbox"/> pull <i>a person's</i> leg	~をからかう	<input type="checkbox"/> have a hunch	うすうす感じる
<input type="checkbox"/> bark up the wrong tree	まったくの見当違いをする	<input type="checkbox"/> get a kick out of ...	~しておもしろがる
<input type="checkbox"/> beat around the bush	遠回しな言い方をする	<input type="checkbox"/> get mixed up	頭が混乱する
<input type="checkbox"/> burn the candle at both ends	精力を浪費する	<input type="checkbox"/> go down the drain	無駄になる
<input type="checkbox"/> cost an arm and a leg	たくさんのお金がかかる	<input type="checkbox"/> drop <i>a person</i> a line	~に手紙を書く
<input type="checkbox"/> turn over a new leaf	生活を一新する	<input type="checkbox"/> dot the i's and cross the t's	あくまでも慎重を期する
<input type="checkbox"/> put the cart before the horse	本末を転倒する	<input type="checkbox"/> rub <i>a person</i> the wrong way	~を怒らす、じらす
		<input type="checkbox"/> look for a needle in a haystack	無駄骨を折る
		<input type="checkbox"/> take the plunge	思い切ったことをする

<input type="checkbox"/> pat a person on the back	~をほめる, 励ます	<input type="checkbox"/> like [as] two peas in a pod	まるでうりふたつで
<input type="checkbox"/> fill a person in on ...	~に...を詳しく知らせる	<input type="checkbox"/> like a fish out of water	勝手が違って
<input type="checkbox"/> get carried away	悪乗りする	<input type="checkbox"/> under the weather	体調が悪くて
<input type="checkbox"/> push [press] one's luck	運に乗る, 図に乗る	<input type="checkbox"/> one way or another	あれやこれやで
<input type="checkbox"/> learn the ropes	コツを覚える	<input type="checkbox"/> off the cuff	即興的に
<input type="checkbox"/> play (it) safe	大事をとる	<input type="checkbox"/> on the go	忙しくて
<input type="checkbox"/> sing another tune	意見を変える	<input type="checkbox"/> on the tip of one's tongue	思い出せなくて
<input type="checkbox"/> ring a bell	以前に聞いたことがある	<input type="checkbox"/> out of print	絶版で
<input type="checkbox"/> tear oneself away from ...	無理に~から離れる, いやいや~から去る	<input type="checkbox"/> in the same boat	同じ境遇で
<input type="checkbox"/> throw the book at ...	~を厳しく罰する	<input type="checkbox"/> in (good) shape	体調がよくて
<input type="checkbox"/> walk on air	うきうきした心でいる	<input type="checkbox"/> in hot water	苦境にあって
<input type="checkbox"/> have it made	うまくいく	<input type="checkbox"/> in no time	すぐさま
<input type="checkbox"/> be on pins and needles	びくびくしている	<input type="checkbox"/> in the dark	わからずに
<input type="checkbox"/> be cut out for [to be] ...	~に向いている	<input type="checkbox"/> till [to] all hours	夜とても遅くまで
<input type="checkbox"/> before you can say Jack Robinson	あっと言う間に	<input type="checkbox"/> with flying colors	見事に
<input type="checkbox"/> all in a day's work	まったく日常のことで	<input type="checkbox"/> without a hitch	滞りなく
<input type="checkbox"/> at the drop of a hat	すぐ, 喜んで	<input type="checkbox"/> what the doctor ordered	まさに必要なもの
<input type="checkbox"/> head and shoulders above ...	~より抜きん出て	<input type="checkbox"/> odds and ends	半端物, 残り物
<input type="checkbox"/> few and far between	ごくまれで	<input type="checkbox"/> a far cry	遠距離, 非常な相違
<input type="checkbox"/> off the hook	窮地を抜け出して	<input type="checkbox"/> a pretty penny	かなりのお金
		<input type="checkbox"/> an old hand	熟練者, 名人
		<input type="checkbox"/> neck of the woods	地域, 地方

いろいろと列挙しましたが、それでも重要なものを挙げていくなら切りがないのが現実です。日々地道にひとつひとつ増やしていく以外に、これといった勉強方法は見当たりません。しかし、常に文章の中でイディオムを覚えていくように心掛ければ、短期間であってもたくさん覚えられますので、ぜひその成果を期待して頑張ってください。

2. 句動詞

《動詞＋副詞／前置詞》のパターンでおなじみの句動詞は、通常、熟語として中学・高校時代からたくさん学んでいるはずです。しかし、次に挙げる50の句動詞のうち、すぐに意味を言えるものはいくつあるでしょうか。チェックしてみてください。

- | | | |
|------------------|------------------|----------------------|
| 1. call off | 21. hold off | 41. make do with |
| 2. get by | 22. wear out | 42. get back at |
| 3. pick out | 23. play up | 43. run out of |
| 4. put off | 24. get at | 44. put up with |
| 5. carry out | 25. take up | 45. brush up on |
| 6. work out | 26. give away | 46. catch on to |
| 7. turn in | 27. show off | 47. fill in for |
| 8. hang up | 28. brush off | 48. get down to |
| 9. pick up | 29. pull off | 49. look back on |
| 10. drop off | 30. add up | 50. stack up against |
| 11. go through | 31. back out | |
| 12. stick around | 32. fall through | |
| 13. turn down | 33. pass up | |
| 14. run into | 34. see to | |
| 15. stop by | 35. iron out | |
| 16. draw up | 36. rule out | |
| 17. dwell on | 37. stamp out | |
| 18. pick on | 38. sail through | |
| 19. call for | 39. do away with | |
| 20. lay off | 40. look up to | |

【答え】

1 ～をキャンセルする 2 どうかやる 3 ～を選ぶ 4 ～を延期する 5 ～を成し遂げる 6 運動する
 7 ～を提出する 8 受話器を置く 9 ～を車で迎えに行く、～を拾う、～を聞き覚える 10 ～を車から降ろす
 11 ～を調べる、～を経験する 12 (～の近くを) うろろする 13 ～を拒む 14 ～にばったり出会う
 15 ～に立ち寄り 16 ～を作成する 17 ～をよくよく考える 18 ～をいじめる 19 ～を必要とする 20 ～を一時解雇する
 21 ～を延期する 22 ～を疲れさせる 23 ～を大きく扱う 24 ～を理解する 25 ～を始める
 26 ～をただで与える 27 ～を見せびらかす 28 ～を無視する 29 ～を見事にやっつける 30 意味をなす
 31 手を引く、約束を破る 32 失敗に終わる 33 ～を逃す、断る 34 ～の世話をする、～を引き受ける
 35 ～を解決する 36 ～を除外する 37 ～を踏み消す、鎮圧する 38 ～にやすやすと合格する、～を簡単にやり遂げる
 39 ～を捨てる 40 ～を尊敬する 41 ～で何とか済ます 42 ～に仕返しをする 43 ～を使い果たす
 44 ～を我慢する 45 ～の勉強をやり直す 46 ～を理解する 47 ～の代行をする 48 ～に取りかかる
 49 を追想する 50 ～に匹敵する

このように一見簡単に見える句動詞も、決して侮ることのできない重要表現です。コツコツとひとつでも多くマスターしていく必要があります。

3. 口語会話表現

完全なひとつの文として会話の中で使われる口語表現を、できるだけたくさん覚えておく必要があります。

- No kidding!** (冗談でしょう)
- Not again!** (またかよ、もうやめてよ)
- What's in it for me?** (それは私に何の得になるの?)
- Don't bother.** (わざわざしないでいいよ、心配ないよ)
- Just my luck.** (まったくついてないなあ)
- Count me out!** (私は興味ないからね)
- Keep it up.** (その調子で頑張って)
- No hard feelings.** (うらみっこなしだよ (= **Nothing personal.**))
- Take my word for it.** (私の言葉を信じなさい)
- You have me there!** (これはまいった)
- Join the club!** (こちらも同様だ)
- Good grief!** (やれやれ)
- What's done is done.** (もう済んでしまったことだよ)
- No offense.** (気を悪くしないでね)
- Way to go!** (いいぞ、その調子だ)
- Easy does it!** (あわてないでやりなさい)

ここに挙げているものは、覚えておくべき口語会話表現のほんの一部にすぎません。重要会話表現については、224 ページでさらに詳しく扱っておりますので、そちらも参照してください。

さて、こうして見てきますと、マスターしなければいけないイディオムの量に圧倒されるかもしれませんが、TOEFL ITP によく出題されそうなものをシステムティックに、かつ効果的に覚えていけば、決して難攻不落なものではありません。そのために皆さんにぜひお勧めしたいのが、次の TOEFL ボキャブラリー教本です。TOEFL に出題される一般語彙、学術語彙、イディオム・決まり文句を厳選収録してあります。TOEFL ボキャピル教材の決定版です。

■ 『TOEFL® TEST 究極単語 5000』 (Paul Wadden 著 語研刊)

1.

- (A) She should look at her schedule first.
- (B) She would prefer to go another time.
- (C) She will go if the weather is fine.
- (D) She is not going to the outdoor concert.

(A) (B) (C) (D)

2.

- (A) Peggy should be more attentive in classes.
- (B) Peggy did not meet with her adviser.
- (C) Peggy may lag behind other students.
- (D) Peggy will have to face the consequences.

(A) (B) (C) (D)

3.

- (A) Tell Adam to improve his image
- (B) Cancel her plan to replace Adam
- (C) Not elect Adam as student treasurer
- (D) Advise Adam to stress his integrity

(A) (B) (C) (D)

4.

- (A) He is thinking about going on to the doctor course.
- (B) His thesis may cause him a serious problem.
- (C) He is working on the thesis all the time.
- (D) He will achieve his master's degree.

(A) (B) (C) (D)

5.

- (A) His support might not count for much.
- (B) He is willing to assist the woman.
- (C) He wants to know how much he will get paid.
- (D) He needs to consider the woman's request.

(A) (B) (C) (D)

Part A Short Conversations

出題傾向と対策

A-2

【話者の意図】を問う

頻出出題パターン ▶ 2



- (A) Class registrations will start in two weeks.
- (B) He will hurry to move into an apartment.
- (C) He must catch up with the class.
- (D) Transferring to another college is not easy.

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

W: Haven't you moved into your new apartment yet? You know that classes start the week after next.

M: That's right. I guess I'd better get a move on.

Q: What does the man imply?

W: まだ新しいアパートに引っ越していないの？ 再来週からクラスが始まるのは知ってるでしょ。

M: そうだよな。急がなければいけないよね。

Q: 男性は何を示唆していますか。

- (A) クラスの履修登録は2週間後に始まる。
- (B) 自分は急いでアパートに転居するだろう。
- (C) 自分はクラスに追いつかなければならない。
- (D) 他大学への編入は容易でない。

【解答・解説】 B

学生同士の会話。再来週からクラスが始まるのにまだ新しいアパートに引っ越していない男性は、I guess I'd better get a move on. (急がなければまずいだろうね) と言っていることから、これから引っ越しに精を出すものと思われる。(B) が正答となる。

【重要語句】

- class registration 「クラスの履修登録」
- catch up with ... 「～に追いつく」
- transfer to ... 「～に編入する, 転校する」
- move into ... 「～へ引っ越す」
- the week after next 「再来週」
- get a move on 「急ぐ, さっさとやる」

第2のタイプの問題は、話者のいずれかが何を imply（示唆）しているかを問うものです。言い換えれば、話者のいずれかが「何をほのめかしているか？」ということです。

この問題では、話者は間接的なメッセージによって意図を伝えようとします。したがって、言外の意味をくみ取る力、裏のメッセージを即座に把握できる力が要求されます。時にかなり難易度の高い問題が出ることがありますが、日々練習を積んでいけば、話者の意図を問うタイプの問題でもほとんどの問題を正答できるリスニング力が必ず身につきます。

設問は通常、次のようなパターンになります。

What does the man imply?

What does the woman mean?

What does the man imply about ...?

話者の意図を問うタイプの問題は、その性格上、会話の中で婉曲的な表現（遠まわしな表現・あいまいな表現）が出てきますので、それらの表現に注意することが大切です。また、話者が暗に何を伝えようとしているのか、喜怒哀楽の表現やトーン、イントネーションにも注意して聞いてください。

Part A Short Conversations

出題傾向と対策

A-3

【話者の仮定・前提・思い込み】を問う

頻出出題パターン ▶ 3

Disc 15

- (A) The woman had been asking the professor for academic advice.
- (B) The professor was counseling the woman regarding her thesis.
- (C) The woman registered for the professor's class this semester.
- (D) The professor was too busy to tutor the woman.

(A) (B) (C) (D)

M: Is Dr. Davis your academic adviser?

W: No, he's not. I took his class last year, though.

Q: What had the man assumed?

M: デイヴィス博士はきみの指導教官だったっけ？

W: いいえ、違うわ。あの先生のクラスは昨年取ったけど。

Q: 男性は何を思い込んでいましたか。

- (A) 女性は学業について教授に助言を求めてきた。
- (B) 教授は論文に関して女性に助言を与えていた。
- (C) 女性は今学期、教授のクラスを履修登録した。
- (D) 教授は忙しくて、女性を個人指導できなかった。

【解答・解説】 A

学生同士の会話。男性の質問は、女性の指導教官はデイヴィス博士と思い込んでいたことを示している。(A) が正答となる。

【重要語句】

- counsel** 「～に助言する」
- tutor** 「～を個人指導する」
- academic adviser** 「指導教官, アカデミック・アドバイザー」 クラス履修や勉強一般

- について相談に乗ってくれるアドバイザーのこと。
 though 「(文尾に置いて) でも, やっぱり」

第3のタイプの問題は、話者の発言の背後にある仮定・前提・思い込みは何かを問うものです。言い換えれば、話者が「何を勝手に思い込んでいたのか」「何を自分なりに信じていたのか」ということです。

設問は通常、次のようなパターンになります。

What had the man assumed?

What had the woman assumed about ...?

このタイプの問題も出題頻度はあまり高くありませんが、出題パターンにはしっかり慣れておく必要があります。

このタイプの問題では、話者の思い込みが当たっている場合もあれば、間違っている場合もあります。前項の「話者の意図を問う」問題と同じく、会話文中に出てくる発言の裏のメッセージを読み取る力が要求されます。

Part A Short Conversations

【話者の行動】を予測する

頻出出題パターン ▶ 4

Disc 21

- (A) Reschedule the annual event
- (B) Take the bus bound for the fraternity
- (C) Telephone the men's student society
- (D) Gather information from the school

(A) (B) (C) (D)

M: Do you know exactly when Sigma Kappa is having their annual spring dance?

W: I have no idea whatsoever. You might give somebody who's in that fraternity a buzz.

Q: What will the man probably do?

M: シグマ・カッパの毎年恒例の春のダンスパーティーの正確な日程を知ってる？

W: まったく知らないわ。その学生クラブのだれかに電話したらいいんじゃないの。

Q: 男性はおそらく何をしますか。

- (A) 年中行事の日程を変更する
- (B) フラタニティ行きのバスに乗る
- (C) 男性社交クラブに電話する
- (D) 学校から情報を収集する

【解答・解説】 C

学生同士の会話。シグマ・カッパという名のフラタニティが主催する春のダンスパーティーの日程を知りたい男性に対して、女性は直接フラタニティに電話してみたかどうかと言っている。(C)が正答となる。TOEFL ITPには大学学生友愛会に関する問題がときどき出題されているが、友愛会加入のために新入生に対して行われる約1週間の勧誘期間を rush ということも覚えておきたい。

【重要語句】

- reschedule 「～の予定を変更する」
- bound for ... 「～行きの」
- student society 「学生会, 学生クラブ」

- **spring dance** 「春のダンスパーティー」
- **whatsoever** 「少しの～も、何らの～も」 (= whatever) 否定文・疑問文で名詞・代名詞のあとに用いる。
- **give ... a buzz** 「～に電話をかける」 (= give ... a call)
- **fraternity** 「フラタニティ, 大学男性友愛会」友愛クラブの名前には, Sigma Kappa のようにギリシア語を用いる。

第4のタイプの問題は、会話から予測される話者の今後の行動を問うものです。言い換えれば、話者が「これからどうするのか」「これからおそらく何をするのだろうか」ということです。会話の中で話されている事柄を基に future (近未来) を予測するわけですから、ちょっとした推理力が要求されます。

最初の話者の問いかけに対して、二人目の話者は、それに対する応答や提案をします。それを受ける設問は通常、次のようなパターンになります。

- What will the man probably do?**
What is the woman probably going to do?
What will the man do next?
What are the speakers [they] planning to do?

Part A Short Conversations

出題傾向と対策

A-5

【話者の提案】を問う

頻出出題パターン ▶ 5



- (A) Ask at the information desk
- (B) Post a memo in the student union
- (C) Go to the lost and found at the airport
- (D) Buy another backpack at the student union

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

W: Tom, do you know where the lost and found on campus is? I've lost my backpack.

M: Oh, that's too bad. Why don't you check at the information desk in the student union?

Q: What does the man suggest the woman do?

W: トム、キャンパス内の遺失物取扱所ってどこにあるか知ってる？バックパックをなくしちゃったの。

M: それは気の毒だなあ。学生会館の案内受付で聞いてみたらどうだい？

Q: 男性は女性に何をするように勧めていますか。

- (A) 受付案内で尋ねる
- (B) 学生会館内にメモを貼り出す
- (C) 空港の遺失物取扱所へ行く
- (D) 学生会館でもうひとつバックパックを買う

【解答・解説】 A

学生同士の会話。バックパックを紛失してキャンパス内の遺失物取扱所の場所を尋ねる女性に対して、その場所を知らない男性は学生会館の案内受付に行きかけて聞いてみるよう勧めている。(A)が正答となる。

【重要語句】

information desk 「受付、案内所」 **post** 「～を貼る、掲示する」 **student union** 「学生会館」 **lost and found** 「遺失物取扱所」 **backpack** 「バックパック」
 on campus 「キャンパスで」(⇔ **off campus** 「キャンパス外で」) **That's too bad.** 「それはお気の毒です、それは困った」 **Why don't you ...?** 「～しませんか」提案、勧誘を表す表現。

第5のタイプの問題は、対話中の男性、女性のいずれかが何を提案しているかを問うものです。設問は、通常次のようなパターンで問われます。

What does the man suggest?
What does the woman suggest the man do?
What does the man suggest to the woman?
What does the man suggest they do?
What does the woman think the man should do?
What is the woman's advice?
What does the man advise the woman to do?
What does the woman mean?

話者の提案を問うタイプの問題はそれほど出題頻度が高くありませんが、比較的簡単な問題が多いので、確実に正答したいものです。

このタイプの問題では、会話文の中に提案・助言・催促・勧誘などを表す表現が頻出する傾向が見られます。これらの表現が聞こえたら、だれが何を提案したのかを瞬時に把握できるようにしなければいけません。中でも TOEFL ITP に最もよく出題される代表的な提案・助言の表現は Why don't you ...? (～してはどうですか) です。

以下は提案・助言・催促・勧誘を表す表現パターンですので、確実に覚えておきましょう。

- Why don't you ...? (～してはどうですか)
- Why not ...? (～してはどうですか、どうして～はダメなのですか)
- Why don't we ...? (一緒に～しませんか)
- How about ...?/What about ...? (～はどうですか)
- What do you say to ...ing?/What do you say + 節? (～をしてはどうだろうか)
- Will [Won't] you ...? (～しませんか)
- Would you like to ...? (～してはいかがですか)
- How does ... sound? (～はどう思う?)
- You might [may] as well ... (～したほうがいい)
- You don't want to ... (～してはいけないう)
- You might want to ... (～したほうがいいかもしれない)
- If I were you, I would ... (私だったら～するけど)
- I wouldn't ... (私だったら～しないだろう)
- Why bother? (そんなことわざわざしなくていいじゃない?)

Part A Short Conversations

【話者の抱える問題】を問う

頻出出題パターン ▶ 6

Disc 33

- (A) She is busy taking care of her sick sister.
- (B) She needs to rest to recover from illness.
- (C) She made a poor excuse for being absent.
- (D) She has not slept well.

(A) (B) (C) (D)

M: Wasn't Sally absent last time too? What's become of her?

W: She's been lying in bed for the past five days or so with a fever, bad cough and sore throat. Must be a case of the flu, I'm afraid.

Q: What is Sally's problem?

M: 前回はサリーは休んでいなかった？ 彼女、どうしたんだろう？

W: 熱やひどい咳、のどの痛みでこの5日間ほど寝たきりなのよ。インフルエンザだろうと思うわ。

Q: サリーの問題は何ですか。

- (A) 彼女は病気の妹の看病で忙しい。
- (B) 彼女は病気から回復するために休養を必要とする。
- (C) 彼女は休んだ理由としてへたな言い訳をした。
- (D) 彼女は睡眠不足である。

【解答・解説】 B

学生同士の会話。最近続けて授業を休んでいるサリーについて尋ねる男性に対して、女性はサリーがインフルエンザにかかって寝込んでいることを知らせている。(B)が正答となる。日常生活でよく耳にする病名は英語でも覚えておくに越したことはない。

【重要語句】

- recover from ...** 「～から回復する」
- make a poor excuse** 「まずい言い訳をする」
- become of ...** 「～がどうなるか」疑問詞 what(ever) を主語に用いた文の中で使う。
- sore throat** 「のどの痛み」
- flu** 「インフルエンザ」influenza の短縮形。

第6のタイプの問題は、対話を聞いて、二人の話者（あるいは一方、または話題にしている第三者）がどんな問題を抱えているかを問うものです。

設問は、通常次のようなパターンになります。

What is the man's problem?
What problem does the woman have?
What is the problem with ...?

対話には、いかなる問題であろうと、その内容を示すキーワードが必ず出てきますから、それを見つける気持ちで聞くことが大切です。さらに、問題を抱えている話者は、困ったような声で、あるいは失望しているような声でメッセージを伝えることが多いので、話者のトーン（口調や語調）にも注意して聞いてください。

このタイプの問題の出題率はあまり高くありませんが、比較的簡単な問題が出題される傾向があり、得点の稼ぎやすいリスニング問題と言えます。

Part A Short Conversations

出題傾向と対策

A-7

【詳細情報】を問う

頻出出題パターン ▶ 7

Disc 1 39

- (A) 9:00 a.m.
- (B) 9:30 a.m.
- (C) 10:00 a.m.
- (D) 10:30 a.m.

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

W: There'll be an introductory lesson tomorrow on how to use online databases in the Language Center. It'll be held in the Student Hub at 10 o'clock in the morning. Want to come with me?

M: Yes, that sounds good to me. Then, shall we meet at half past nine?

Q: When will the lesson start tomorrow?

W: 語学センターのオンラインデータベースの使い方の入門レッスンが明日あるわ。午前10時からスチューデントハブだよ。一緒に行きたい？

M: うん、いいね。じゃあ、9時半に会ってことでどうかな。

Q: レッソンは明日のいつ始まりますか。

- (A) 午前9時
- (B) 午前9時30分
- (C) 午前10時
- (D) 午前10時30分

【解答・解説】 C

学生同士の会話。午前10時から始まる語学センターのオンラインデータベースの使い方の入門レッスンに誘われた男性は9時30分 (half past nine) に落ち合おうと提案している。(C)が正答となる。時刻を正確に聞き取る必要がある。

【重要語句】

- Student Hub** 「スチューデントハブ」
- That sounds good to me.** 「いいねえ」賛同を表す口語表現。

第7のタイプの問題は、対話中の詳細な情報について問うものです。対話の結論が何であるかはほとんど関係なく、特定の情報、事実だけに焦点を当てた、きわめて specific な設問が問われます。

つまり、設問のパターンは決まっておらず、いわゆる 5W1H (= Who, What, Where, When, Why, How) のいずれかの疑問詞で始まる疑問文で問われます。あるときは When does the man want to see his advisor?, またあるときは What does the woman say about her roommate? というように、ありとあらゆるバリエーションの設問が出題されます。

詳細情報を問う問題はそれほど高い出題頻度ではありませんが、対話全体の内容を把握するマクロ的リスニング能力に加え、細部に至る情報を理解するミクロ的リスニング能力が要求されます。

【会話のトピック】を問う

頻出出題パターン ▶ 8

Disc 1 45

- (A) The upcoming debate tournament
- (B) A possible debate partner for Linda
- (C) Linda's outstanding debating skills
- (D) The debate about the current economy

(A) (B) (C) (D)

W: Linda is a very seasoned debater, isn't she?

M: I'll say. When I saw her at the intercollegiate debate competition, she was second to none. Even in our economics class, her discussion skills are by far the best.

Q: What are the speakers discussing?

W: リンダはとても経験豊かなディベーターね。

M: そうだね。彼女を大学対抗ディベート大会で見たけど、だれもかなわなかったよ。僕たちの経済学のクラスでも、彼女の討論技術はずば抜けて一番だ。

Q: 話者らは何について話していますか。

- (A) 来たるべきディベート大会
- (B) リンダのディベート・パートナーになる可能性のある人
- (C) リンダの突出した討論技術
- (D) 現在の経済についてのディベート

【解答・解説】 C

学生同士の会話。二人が話しているのは、リンダのディベート力のすごさである。(C)が正答となる。

【重要語句】

- upcoming** 「来るべき」
- outstanding** 「突出した、顕著な」
- seasoned** 「経験豊かな」
- I'll say.** 「まったくね、そうね」

- **intercollegiate** 「大学対抗の」
- **debate competition** 「ディベート大会」
- **second to none** 「だれにも劣らない」
- **by far** 「はるかに、断然」最上級や比較級を強調する。

最後のタイプの問題は、対話を聞いて、話者がどんな話題（トピック）について話しているのかを問うものです。言い換えれば、対話の subject または main idea（主題）は何かということです。

設問は、通常次のようなパターンになります。

What are the speakers [they] discussing?

What are the speakers [they] talking about?

会話の話題を問う問題では、対話の始めで何が話題なのかを示すことが多いようです。また、対話の途中でさまざまなつなぎ言葉（incidentally 「ところで...」、actually 「実は～」、speaking of ... 「～と言えば」など）を用いて、その直後に話題が出てくることがあります。内容的には必ずキャンパス生活、学業に関わるものが出題されるわけですから、関連語彙を多く身につけておくことが不可欠となります。

このタイプの問題の出題率もあまり高くはありませんが、比較的簡単な問題が出題される傾向があり、得点の稼ぎやすいリスニング問題だと言えます。

III



パート別有効ストラテジー Test-taking Strategies



Part A Short Conversations

【類音語句】を聞き分ける

有効ストラテジー ▶ 1

 Disc2 31

- (A) The college is expanding its enrollment.
- (B) Ralph had dropped out of college.
- (C) It has been four years since Ralph quit school.
- (D) Ralph started college later than usual.

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

W: I heard that Ralph is already 26 years old. Why is that?

M: That's because he was quite late in enrolling in college.

Q: What does the man mean?

W: ラルフってすでに 26 歳らしいわね。どうしてなの？

M: かなり年取ってから大学に入学したからさ。

Q: 男性は何を言いたいのですか。

- (A) 大学は入学者数を増やしている。
- (B) ラルフは大学を中途退学していた。
- (C) ラルフが大学を辞めて 4 年経つ。
- (D) ラルフは普通よりも遅く大学に入学した。

【解答・解説】 D

学生同士の会話。なぜラルフが 26 歳で、他の学生より年長なのかを聞いている女性に対して、彼はある程度年を取ってから大学に入学したからだと言っている。(D) が正答となる。会話文中の男性の発する “quite late” の quite を quit と聞き違えれば、選択肢 (C) を選んでしまうかもしれない。

【重要語句】

- expand 「～を拡大する」
- enrollment 「入学者数」
- drop out of college 「大学を中退する」
- enroll in ... 「～に入学する」

Part A の Short Conversations が8つの出題パターンに分類できることは、前章で説明しましたが、この章では Part A で正答率をより高めるための具体的なストラテジーと学習方法について説明したいと思います。

まずは、類音語によるトラップ（罠、ひっかけ）についてです。この種の問題では、紛らわしい発音も正確に聞き取ることのできるリスニング力があるかどうかが問われます。会話文の中で使われる語句と音の似通った語句を含む、紛らわしい選択肢が出されるので、十分注意して聞かなければなりません。TOEFL ITPに出題される類音語句には大きく分けて5つのパターンがあります。

1. Minimal pairs (ミニマルペア) よるひっかけ

● 1. 1. 頭韻によるもの

- | | | |
|--|---|------------------------|
| <input type="checkbox"/> congenial (気の合った) | — | congenital (先天的な) |
| <input type="checkbox"/> monotony (単調さ) | — | monopoly (専売, 独占) |
| <input type="checkbox"/> mediate (～を和解させる) | [| medicate (～に医療を施す) |
| | | meditate (～を企てる, 黙想する) |

● 1. 2. 脚韻によるもの

- | | | |
|--|---|------------------|
| <input type="checkbox"/> sheet (シーツ, 用紙) | — | cheat (～を騙す) |
| <input type="checkbox"/> pit (穴, 窪み) | — | bit (小片, 少しだけ) |
| <input type="checkbox"/> pale (青白い) | — | veil (ベール, 見せかけ) |
| <input type="checkbox"/> road (道) | — | load (積み荷, 重荷) |
| <input type="checkbox"/> room (部屋) | — | loom (ぼんやりと現れる) |
| <input type="checkbox"/> row (列, ポートを漕ぐ) | — | low (低い) |

なお、類音語句におけるLとRの音の違いは、日本人が最も苦手とするもののひとつなので、特に注意して日頃からリスニング訓練に励んでください。

2. Homonyms (異形同音異義語) / Words with multiple meanings (同形同音異義語) によるひっかけ

● 2. 1. 異形同音異義語によるもの

- | | | |
|---|---|--------------------|
| <input type="checkbox"/> heal (治る) | — | heel (かかと) |
| <input type="checkbox"/> sole (唯一の) | — | soul (魂) |
| <input type="checkbox"/> principal (主な, 校長) | — | principle (原理, 法則) |
| <input type="checkbox"/> root (根) | — | route (道路, 手段) |
| <input type="checkbox"/> vain (つまらない) | [| vane (風見) |
| | | vein (静脈) |

2. 2. 同形同音異義語によるもの

<input type="checkbox"/> mean (～を意味する)	—	mean (意地悪い)
<input type="checkbox"/> sound (聞こえる)	—	sound (健全な)
<input type="checkbox"/> rock (揺れる)	—	rock (岩)
<input type="checkbox"/> ground (粉にした)	—	ground (地面)
<input type="checkbox"/> spell (～を綴る)	⌈	spell (魅力)
	⌋	spell (ひと仕事, しばらくの間)

3. 短母音・長母音によるひっかけ

<input type="checkbox"/> fill (～を満たす)	—	feel (～を感じる)
<input type="checkbox"/> sit (座る)	—	seat (腰掛け)
<input type="checkbox"/> knit (～を編む)	—	neat (すばらしい, きちんとした)
<input type="checkbox"/> rid (～を取り除く)	—	read (～を読む)
<input type="checkbox"/> pull (～を引く)	—	pool (プール)

4. 派生語によるひっかけ

<input type="checkbox"/> sensible (分別のある)	—	sensitive (敏感な)
<input type="checkbox"/> social (社会の)	—	sociable (愛嬌のある)
<input type="checkbox"/> industrial (産業の)	—	industrious (勤勉な)
<input type="checkbox"/> literal (文字の)	⌈	literary (文学の)
	⌋	literate (読み書きできる)
<input type="checkbox"/> imaginative (創造的な)	⌈	imaginary (架空の)
	⌋	imaginable (想像できる)

5. 一単語・複数単語によるひっかけ

<input type="checkbox"/> keeper (管理人)	—	keep her (彼女を引き留めておく)
<input type="checkbox"/> duty (義務)	—	due to (～のため)
<input type="checkbox"/> discourse (談話)	—	this course (このコース)
<input type="checkbox"/> surprise (～を驚かせる)	—	super eyes (すごい目)

類音語句の問題を解く際に、選択肢の中で真っ先に疑ってかかるべきものは、会話文中に出てきた語の類似音を持つ語が選択肢の中に使われている場合です。このような類音語句を含む選択肢は問題作成者の仕掛けた罠であることが多いようです。一般的に TOEFL ITP では、選択肢の中に類音語句がまったく含まれていないものが正答となる傾向があります。問題作成者の意図さえも考えながら問題を解いていく余裕がほしいものです。

Part A Short Conversations

【言い換え表現】を見破る

有効ストラテジー ▶ 2



- (A) Her paper is not coming along as planned.
- (B) She has finished her paper.
- (C) The conclusion is the most difficult to work on.
- (D) She has one more section to write.

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

M: How's your Picasso critique coming along? You've been at it most of the week.

W: I know. Thanks for asking. I'm down to the conclusion.

Q: What does the woman imply?

M: きみのピカソの批評はどうなってる? ほとんど一週間、せっせとやっているじゃない。

W: そうね。聞いてくれてありがとう。今やっと結論の部分に来たところよ。

Q: 女性は何を示唆していますか。

- (A) 自分のレポートは予定どおりに進んでいない。
- (B) 自分はレポートを仕上げたところである。
- (C) 結論の部分は取り組むのが最も難しい。
- (D) 自分はあと1つのセクションを書くだけである。

【解答・解説】 D

学生同士の会話。ピカソの批評の進行具合を聞いている男性に対して、女性は“I'm down to the conclusion.”と言っている。結論の部分だけが残っているわけだから (D) が正答となる。

【重要語句】

- critique 「批評, 評論」
- be down to ... 「～に取り組むところだ」

問題文中の表現を別に言い換えた選択肢は、TOEFL ITP のリスニング問題だけでなく、リーディング問題でも頻繁に用いられます。問題作成者は、本文で使われている表現を選択肢中で意図的に他の表現に言い換えることにより、正答を見つけにくくするのです。

Listening Comprehension では、Part B についても言えることですが、特に Part A ではほぼすべての問題で、正答の選択肢は会話文のキーセンテンスを別の表現を用いて言い換えています。つまり、会話文のキーセンテンスが否定形の表現であれば、正答の選択肢は肯定形を用いて言い換える、あるいはイディオムを用いたキーセンテンスをパラフレーズして正答選択肢に用意するなどの修辭的工夫を凝らした問題が出題されるわけです。

例えば、本文中に

- ① **Ben was a little sick yesterday.**
- ② **That subject is all Greek to her.**
- ③ **Nick jotted down a few words on his memo.**
- ④ **The jewelry store is a long way from here.**
- ⑤ **Becky needs to take a rest.**

などとあれば、正答の選択肢には、

- ①→ **He was a bit ill.**
- ②→ **It is beyond her comprehension.**
- ③→ **He wrote down a couple of words.**
- ④→ **The store is far from here.**
- ⑤→ **She needs to relax for a while.**

という具合に書き換えが用いられます。

リスニング問題の対策は、ただ単に聴解訓練だけ行っていれば十分というわけにはいきません。なぜなら、聞こえてきた英文の内容を把握して、短い解答時間の中ですべての選択肢に目を通し、それぞれの意味を即座に理解したうえで正答を選ばなくてはならないからです。言い換えれば、TOEFL ITP のリスニング問題では速読力も試されているわけです。

そのためには、常日頃から、英字新聞や英文雑誌、小説、英文テキストなどを素材として、速読力をつけることが必要となります。語彙力増強に加え、速読・速聴ができるようになれば、TOEFL ITP のリスニングは恐れるに足りません。

- (A) The woman is exaggerating about Rick.
- (B) Rick should be more serious about his studies.
- (C) Without the woman's help, Rick will fail astronomy.
- (D) The woman should tell Rick to study astronomy harder.

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

W: Rick majors in astronomy, you know, but he can't even remember the order of the nine planets in our solar system, much less the fact that there are 57 moons in it. I think he needs to study more.

M: You said it.

Q: What does the man mean?

W: リックは天文学を専攻しているけど、彼って私たちの太陽系にある9つの惑星の順番さえ覚えていないのよ。ましてや、その中に57の月があるという事実も覚えていないし。もっと勉強する必要があると思うわ。

M: まったくそのとおりだよ。

Q: 男性は何を言いたいのですか。

- (A) 女性はリックのことを誇張している。
- (B) リックは勉強にもっと真剣になるべきである。
- (C) 女性の助けがないと、リックは天文学のクラスを落とすだろう。
- (D) 女性はリックに天文学をもっと勉強するように言うべきである。

【解答・解説】 B

学生同士の会話。リックは天文学をもっと勉強すべきだと言っている女性に対して、男性は“You said it.”(同感です)と賛同している。(B)が正答となる。この表現は日常会話で頻繁に出てくるもので、TOEFL ITPでもたびたび出題されている最重要表現のひとつである。直訳すると何のことだかさっぱり見当のつかないこの種の定型会話表現がTOEFL ITPにはよく出題される。

【重要語句】

□ exaggerate 「～を大げさに言う、誇張する」 □ astronomy 「天文学」

- **major in ...** 「～を専攻する」 (= specialize in ...)
- **planet** 「惑星」
- **much less** 「いわんや～でない」 (= still less) 否定的語句のあとに用いる。
- **You said it.** 「同感だね」強い同意を表す口語表現。

TOEFL ITP によく出題されるイディオムの傾向については、20 ページで触れましたが、ここでは口語会話表現のうち、完全なひとつの文になっている定型表現を扱います。イディオムは文字どおりに解釈すれば意味が混乱し、誤った選択肢を選んでしまうこととなりますので、大切なものは完璧にマスターしてください。以下のリストは、会話に欠かせない重要表現を5つのタイプに分類したものです。

1. 会話文で頻出する諺・格言

- **A rolling stone gathers no moss.** (転石苔むさず)
- **Don't count your chickens before they've hatched.** (捕らぬ狸の皮算用)
- **A friend in need is a friend indeed.** (まさかの友は真の友)
- **Time flies.** (光陰矢の如し)
- **Better late than never.** (遅くでもないよりはまし)
- **Better safe than sorry.** (後で後悔するより先に用心するほうがいい)
- **The more, the merrier.** (人は多ければ多いほど楽しい)
- **Rome wasn't built in a day.** (ローマは一日にして成らず)
- **Every cloud has a silver lining.** (憂いの反面には喜びがある)
- **Two heads are better than one.** (三人寄れば文殊の知恵)
- **Strike while the iron is hot.** (鉄は熱いうちに打て)
- **Let sleeping dogs lie.** (触らぬ神に祟りなし)
- **The grass is always greener on the other side of the fence.** (隣の芝は青い)
- **Six of one, half dozen of the other.** (五十歩百歩)
- **Actions speak louder than words.** (口先よりも行動のほうが大事)
- **Birds of a feather flock together.** (類は友を呼ぶ)
- **If the shoe fits, wear it.** (思い当たる節があるなら、自分のことと思え)
- **It's no use crying over spilt milk.** (覆水盆に返らず)
- **There's no accounting for tastes.** (たで食う虫も好き好き)
- **Handsome is as handsome does.** (みめより心)
- **Necessity is the mother of invention.** (必要は発明の母)
- **You cannot have it both ways.** (ふたまたをかけるな)
- **Nothing venture, nothing have.** (虎穴に入らずんば虎児を得ず)
- **While the cat's away, the mice will play.** (鬼のいぬ間に洗濯)
- **Haste makes waste.** (急がば回れ)

2. 比較的簡単な会話表現

- There is no help for it. (= It can't be helped.) (それは仕方がない)
- I'm not up to it. (それをする気にはならない)
- It couldn't be better. (それは最高だ)
- Things could be worse. (現状に満足すべきだ, 上を見ればキリがない)
- It could have been worse. (ひどいことにならなくてよかった, 不幸中の幸いだ)
- We're all set. (これで準備万端整った)
- That's more like it. (そのほうがいい)
- There you go. (その調子だ, ほらまたしでかした)
- You name it. (何でも言ってみなさい)
- That's that. (それでおしまいだ)
- That'll do. (それがかまいません)
- That won't do it. (それではだめだろう)
- You made it. (よくできたね)
- I need it yesterday. (今すぐ必要です)
- Let's call it a day. (もう今日はこれで終わろう)
- Let's face it. (現実を見つめよう)
- Let me have a word with you. (ちょっとお話ししたいことがあるのですが)
- Let me sleep on it. (一晩考えさせてください)
- Let's get going. (出発しよう, 急ごう)
- That'll be the day. (まさか, もうおしまいだね)
- That's going too far. (それはやりすぎだ)
- That's life. (仕方ないよ)
- That's the way it is. (それが現実というものだ)
- That's worth a try. (それはやってみるだけの価値がある)
- Not on my account. (私は結構です)
- What are you driving at? (何が言いたいのだ)
- You've got a nerve. (きみも図々しいね)
- Now you're talking. (そうこなくっちゃ)

3. 少しレベルの高い会話表現

- It takes some doing. (それはかなりの努力を要することだ)
- You hit the nail on the head. (まさに図星だよ)
- You could have heard a pin drop. (しんと静まり返っていた)
- You should've known better. (きみもばかなことをしたものだ)
- Yesterday wouldn't be too soon. (早いに越したことはない)
- You could have fooled me. (そんなこと, うそだろう)
- That's all there is to it. (それだけのことだ)

- You get what you pay for. (払った金の値打ち分だけ得られるものだ)
- You're imagining things. (きみの思いすぎだよ)
- Your guess is as good as mine. (私にもわかりません)
- That makes two of us. (私もです／肯定・否定)
- I wasn't born yesterday. (赤ん坊でもあるまいし)
- It takes all sorts. (世の中にはいろいろな人がいるものだ)
- It takes two to tango. (それはお互いさまだ)
- It's all Greek to me. (私にはちんぷんかんぷんだ)
- Let's play it by ear. (臨機応変にやろう)
- You took the words out of my mouth. (私もそれを言おうと思っていたところだ)
- I'm chomping at the bit. (首を長くして待っているところだ)

4. 短縮型の会話表現

- Can't complain. (まあ順調だね)
- No question about it. (それについては疑問の余地なしだ)
- The same old story. (よくある話だ)
- To each his own. (それは好きずきというものだ)
- No sooner said than done. (すぐにやります)
- Good for you. (やったね)
- Lucky you! (それはラッキーだね)
- Big deal. (それがどうしたって言うんだ)
- Fair enough. (ごもっとも)
- So far, so good. (今のところうまくいっている)

5. よく用いられる命令文

- Give it a try. (試しにやってみなさい)
- Pull yourself together. (落ち着け、うろたえるな)
- Cut it out. (やめろ、黙れ)
- Bear with me. (ちょっと待ってくれ、私の言うことを我慢して聞いてくれ)
- Hang on. (= Hang in there.) (あきらめるな、頑張れ)
- Suit yourself. (好きにしる、勝手にしる)
- Give me a break. (それは無茶だよ)
- Come again? (何だって?)
- Catch me later. (またあとにしてね)
- Give it all you've got. (全力で頑張れ)
- Make my words. (いいか、言っておくけどね)

以上、すべて重要な口語表現ばかりですから、しっかりとマスターしてください。

宮野 智靖 (みやの・ともやす)

広島県生まれ。ペンシルベニア州立大学大学院スピーチ・コミュニケーション学科修士課程修了(M.A.)。現在、関西外国語大学短期大学部教授。

主要著書：『すぐに使える英会話ミニフレーズ2500』『ネイティブ厳選 気持ち伝える英会話まる覚え』『みんなの英文法マン』(以上、Jリサーチ出版)、『TOEIC L&R テスト 究極単語 BASIC 2200』『TOEIC L&R テスト 究極単語 ADVANCED2700』(以上、語研)、『スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問』『はじめての TOEIC L&R テスト本番模試』(以上、旺文社)、『こなれた英語を話すテクニク』(DHC)、『TOEIC テストはじめて覚える英単語と英熟語』(ダイヤモンド社)。主要資格：TOEIC990点、英検1級、通訳案内業国家資格。

Joseph T. Ruelius (ジョセフ・T・ルリアス)

米国ニュージャージー州生まれ。クインピアック大学卒業(英文学専攻)。ニュージャージー大学卒業(英語教育専攻)。英国バーミンガム大学大学院英語教育研究科修士課程修了(M.A.)。現在、関西外国語大学英語国際学部准教授。Podcastingを利用した語学教材の開発に積極的に取り組んでいる。各種英語資格試験にも精通している。

主要著書：『ネイティブ厳選必ず使える英会話まる覚え』『ネイティブの英会話公式 BASIC84』(以上、Jリサーチ出版)、『TOEIC® TEST PART 5 文法・語彙問題だけで100点アップ』(アスク出版)、『Welcome to USA TODAY』(開文社出版)。

木村 ゆみ (きむら・ゆみ)

大阪府生まれ。英国エジンバラ大学大学院応用言語学科修士課程修了(M.Sc.)。現在、関西外国語大学外国語学部講師。

主要著書：『新 TOEIC® TEST 完全攻略模試』(語研)、『TOEIC® テスト 600 点突破のための英単語と英熟語』『TOEIC® テスト 860 点突破のための英単語と英熟語』『TOEFL® テスト 180 点突破のための英単語と英熟語以上』(以上、こう書房)、『IELTS 実践トレーニング』『TOEIC® Test 5 日間でカンをつかむ!』(以上、三修社)、『知っておきたい英語表現』(開文社出版)。

© Tomoyasu Miyano; Joseph T. Ruelius; Yumi Kimura, 2011, Printed in Japan

TOEFL ITP® TEST リスニング完全攻略

2011年11月1日 初版第1刷発行
2021年10月20日 第8刷発行

著者 宮野 智靖 / Joseph T. Ruelius / 木村 ゆみ
制作 ツディブックス株式会社
発行者 田中 稔
発行所 株式会社 語研
〒101-0064
東京都千代田区神田猿楽町2-7-17
電話 03-3291-3986
ファクス 03-3291-6749
組版 ツディブックス株式会社
印刷・製本 シナノ書籍印刷株式会社

ISBN978-4-87615-243-8 C0082

書名 トーフルアイディービートテスト リスニングカンゼンコウリヤク
著者 ミヤノ トモヤス / ジョセフ ティー ルリアス / キムラ ユミ

著作権および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。

乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社 語研 GOKEN

語研ホームページ <https://www.goken-net.co.jp/>

本書の感想は
スマホから ↓



【付属 CD について】

CD2 枚を同じ袋に、残り 2 枚を別の袋に取っています。

CD 収録時間: 61 分 49 秒 (Disc 1)
73 分 42 秒 (Disc 2)
49 分 29 秒 (Disc 3)
35 分 26 秒 (Disc 4)